

平成 28 年 8 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

近畿ブロック保育研究集会開催

## 「保育所保育指針」の改定 保育の「質の向上」を目指して

7月7日、8日にシエラトン都ホテル大阪で全国保育協議会主催の近畿ブロック保育研究集会が開催され、約930人が参加しました。1日目は基調講演と8の分科会、2日目には記念講演が実施されました(2面に関連記事)。

オープニングセレモニーでは人形浄瑠璃文楽「伊達娘恋緋鹿子」の「見櫓の段」が披露され、開会に先立ち見事な華を添えました。

基調講演では厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課保育指導専門官の馬場耕一郎氏から「保育行政の動向と課題」について説明があり、とくに強調されたのは「保育所保育指針」の改定についてです。改定は、保

育所利用児童数の増加、子ども・子育て支援新制度の施行、児童虐待対応件数の増加等を背景としており、保育所保育における幼児教育の位置づけとして、保育士が施設で行う専門的な保育を家庭保育とは異なる保育として示してい



かなければならぬこと。その他、「乳児・3歳未満児の保育に関する記載の充実」「子どもの育ちをめぐる環境の変化を踏まえた健康及び安全の記載の見直し」「保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援との必要性」「職員の資質・専門

### 保育所における感染症対応

保育所は園児が毎日長時間集団生活をする場であり、遊び等を通じ濃厚接触が多いため、ノロウイルスやインフルエンザ等の集団感染が起こりやすい環境にあります。

#### 特に夏場は以下の点に注意しましょう

- 園全体で園児の健康状態の把握を
- 腸管出血性大腸菌等おなかの感染症は血便や下痢だけではなく軟便等軽い症状の場合もあるので注意
- 便からの感染症はトイレを介し感染が拡がりやすいためトイレ消毒と手洗いの徹底を
- いつもと違って何かおかしいなと感じたら、早めに保健所へ相談を

(大阪府)

職員の資質・専門

### 健康教育講座1開催!

7月4日に社会福祉法人さつき保育園主催で、保護者・保育者を対象に講演会「食べて、動いて、よく寝よう!」が開催されました。講師には早稲田大学人間科学学術院教授の前橋明氏、京都ノートルダム女子大学生生活福祉文化学部准教授石井浩子氏を招きました。

講演では、意欲をもって自発的に動いて考える子どもを期待するならば、「早寝、早起き、朝ごはん」に、自律神経機能の発達を促す「運動」を加えることが不可欠と指摘。日中に運動エネルギーを発散し、情緒の解放を図る機会を与えることの重要性を強調されました。(事務局)

性的向上」等を柱として見直しが進められます。

また、保育所利用児童と女性就業率が上昇傾向にあることを根拠に「二ツポン一億総活躍プラン」の実現に向け、事業所内保育による児童の受け皿としての整備や、保育士のキャリアアップの仕組みの構築による「質の向上」を行うとともに、処遇改善や多様な人材確保・育成に総合的に取り組み、待機児童解消の実現を目指す対策が閣議決定されました。

2日目の記念講演では、絵本作家の長谷川義史氏が講演され本会は盛況裏に閉会いたしました。(事務局)



待機児童対策のため、新築予定の保育園が地域の方から反対を受け、建設中止や延期になっています。子ども

の声や音楽がうるさいというだけでなく、送迎時の車や自転車のトラブル、保護者の声なども原因になっているようです。

私の園も住宅街の中にあり、子どもの声だけでなく、夏まつりの踊り、運動会の音楽隊の太鼓等、園庭で大きな音で音楽を流すことも少なくありません。そんな声や音に関しては「子どもものことやからいいよ」と言ってくださいますが、送迎時の車や自転車、ハイツの駐車場等で子どもが走り回っているのに注意せず立ち話をする保護者に対してはたびたび苦情を受けます。保護者の方には、どういふことが迷惑になるのか、一つひとつ話します。「これくらい」と思うことも自分が逆の立場になったときどう思うか、いろいろな場面を想像していくことが必要だと感じます。

地域に愛される園になるよう、柔軟に頭を使い、細やかに気を配っていききたいと思えます。

(編集委員 A・O)

# 自己肯定感を育む保育の実践

## 5歳児クラスでの取り組みを通して

以下はひがし保育園の平松豊氏からの報告です。



平松豊氏

自尊心、自己肯定感を育むという当園の理念を具現化する保育を目指し、私と4年目の保育士が担当した年長児クラスでの保育実践を報告します。

Aちゃんは当時友達を叩くなどのいわゆる問題行動をとりがちの子で、私たちはAちゃんへの関わりに困惑することがありました。

そこで、行動観察記録に客観的な目線、多角的な目線でAちゃんにどのような援助が必要か考察し、最終的にはクラス内でも応用できる保育へと着手しました。

ねらいは、愛情欲求や承認欲求を満たし、成功体験や達成感を味わうこと。保育の方法として三本の柱をかかげ、それぞれにねらい

と目的を設定しました。

一つ目は愛情欲求を満たすために保育者から積極的に「抱っこ」すること。はじめは遠慮がちだった子どもたちは、次第に素直に甘えを出すようになりました。

二つ目に得意なことや興味のあることで、子ども自身が「できた!」と達成感を感ぜられる保育。三つ目はクラスの話しあい、誰もが承認されるような話し合いの方法を設定しました。

子どもたちの変化としてはどの子ども素直に甘えてくれるようになり、さまざまな活動に意欲的に参加するようになりました。自主的な行動が増え、発言も積極的になったように感じます。

Aちゃんも徐々に落ち着き、みんなと一緒に安心して生活を楽しめるようになりました。子どもの行動の顕在化している部分だけに目を向けず「なぜかな?」と理由を探る姿勢で関わることで肯定的に捉えることができました。この保育実

践で、私も子どもからの愛情を受けながら、達成感や充実感を味わい、自分の自己肯定感の高まりを感じています。

私は今年度から家庭支援

## 地域貢献実践を見える化！ 大阪しあわせネットワーク 支援システム

大阪府社会福祉協議会ならびに社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会では「社会福祉法等の一部を改正する法律」をはじめ、社会福祉法人への期待に応える取り組みとして、それぞれの強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進する「大阪しあわせネットワーク」を展開しています。

本事業を推進するにあたり、さまざまな地域貢献実践を集約して「見える化」をはかる、「大阪しあわせネットワーク支援システム」をご提供しています。

### ご利用方法

本システムは、大阪府社会福祉協議会施設にID・パスワードを発行し、ご利用いただけます。

担当職員として保護者支援を行っています。今回の保育実践を通し、保護者の自己肯定感への支援もできれば、より有効な実践効果が期待されると考えています。

インターネット環境があれば、どこからでも利用可能なクラウド型のシステムです。ソフトのインストールなども不要で、すぐにご利用いただけます。



<https://osaka-soudan.jp/ssss/user/login/>

### 本システムの主な4つの機能と役割

①総合生活相談支援機能  
相談支援記録の入力、生活困窮者レスキュー事業における経済的援助申請などができます。また、相談支

援に活用できる社会資源情報なども参照できます。

### ②地域貢献支援機能

地域貢献事業を登録し、地域貢献実践の「見える化」をはかれます。他の法人(施設)の取り組みを参照することもできます。

### ③情報共有機能

スマイルサポーターやコミュニティソーシャルワーカーの名簿共有、研修会の開催情報等の提供、大阪しあわせネットワークのロゴ提供など。

### ④基本情報登録

各法人(施設)の基本情報の登録、変更ができます。

### 本システム活用のポイント

詳しい操作方法等については6月下旬にお送りした

「利用の手引き」をご参照のうえ、次の3点のご確認・ご登録をお願いします。

①貴法人(施設)の「システム登録内容」のご確認

②貴法人(施設)の「スマイルサポーター」のご登録

③貴法人(施設)が取り組む「地域貢献事業」のご登録

社会福祉法人の地域貢献実践の「見える化」と情報共有が簡単・便利に行える「大阪しあわせネットワーク支援システム」を是非ご利用ください。

### 【お問い合わせ】

大阪府社会福祉協議会  
施設福祉部社会貢献推進室  
電話(06)6762-9488  
(事務局)

## 義援金のご報告

4月14日に発生した熊本地震を受けて、5月9日から保育三団体(全国保育協議会、全国私立保育園連盟、日本保育協会)合同で実施した義援金の募金額合計は531万3681円でした。

ご協力いただきました各施設の皆様には深く感謝申し上げます。

熊本県ならびに被災された地域の一日も早い復旧をお祈りいたします。(事務局)

# 東

豊中ひだまり保育園は、あけぼのひだまり保育園の姉妹園として平成28年4月に開園。豊中市で初めてとなる小規模保育所であり、生後57日の0歳児〜2歳児までの子どもたち19人が生活しています。室内は木の温もりを肌で



ビルの1階にある保育園

感じられる空間となっており、子どもたちが安心して過ごせるよう、できるだけ家庭に近い環境作りを心掛けています。とくに子どもたちは道路に面した解放感のあるデッキテラスが大好きで、日向ぼっこをしたり好きな玩具をもってきたりと思っておもいに楽しんで

ます。保育園の前を通りかかる地域の方と子どもたちが笑顔で手を振りあう、微笑ましい光景が毎日見られます。夏にはデッキテラスにプールを出して、思う存分に水遊びをします。天気の良い日には近くにある公園で身体を動かして遊びます。公園までの道中、虫を見つけたり花や植物にふれ季節を感じたり、近所の方とあいさつを交わしたりとたくさんの自然や人とふれあひながら、多くの発見をしています。このような生活を通してさまざまな経験をすることで、自分を発揮する素地を培い、思いやりのある心と健康な心身を育めるよう、子どもたちの育ちを大切にしています。

## 豊中市

保育所  
ひがしとよなか  
**東豊中ひだまり保育園**  
(小規模保育園)

また、地域の子育て中の方が親子で参加できる「ひだまり広場」を毎月第4水

曜日に開催しています。子育ての楽しさや悩みを共有し「やっぱり育児は楽しい!」と思っていただけのような場の提供ができればと思っていますと、園長の奥田壮記先生は語っておられました。

(編集委員 Y・T)



きれいなシャボン玉

保育園・認定こども園をたずねて

543

# 京

阪電車本線の光善寺駅から徒歩約10分、緑の木々に囲まれ、その中の果樹園には姫りんご・柿・ゆすらうめ・やまもも・みかん・びわなどが植えられている、自然豊かな環境にある保育園です。



ブロンズ像がお出迎え

玄関を入るとまず目に入るのが、園の名前である「敬愛」の文字のモニュメント、ブロンズ像です。三上理事

長のおっしゃいました。エコにも取り組まれており、園庭に雨水タンクを設置し、雨水を水やりに利用。

太陽光を再利用

食育の取り組みとして屋上一面には菜園がつくられ、いろいろな野菜が太陽の光を浴びてすくすくと育っています。近くにはサツマイモ畑もあり、毎年800株を植え、子どもたちが思う存分、芋ほりを楽しめるとのこと。うらやましい限りです。「日々の中で一つひとつの食べ物には、命があり、命をいただいていることを子どもたちにしっかりと伝え、感謝の気もちを大切にしています」と住園長はおっしゃいました。



たくさんの野菜を植えた広い菜園

食べ物一つひとつに宿る命へ  
日々感謝の気もちを  
雨水タンクや太陽光発電で  
エコの大切さ伝える

保育所  
なかぶりけいあい  
**中振敬愛保育所**

## 枚方市

# 自然のなかで 子どもの経験を培う

## 食を通して生きる力につなげたい

保育所  
八尾市 **マリア高安保育園**

保育・音楽指導や英会話5歳児の囲碁教室等にも取り組まれ、多様な経験からさまざまな興味が生まれ、好きなことが一つでも多く

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。



高安山へさんぽ

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

(編集委員 H・K)

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。



虹を描いた壁面制作

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。



全面砂場の園庭

年齢にあった活動と広い園庭での体育、遊具の活用や、泥んこ・ルールのある遊びへの取り組み。高安山への散歩を通して「草花や

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

年齢にあった活動と広い園庭での体育、遊具の活用や、泥んこ・ルールのある遊びへの取り組み。高安山への散歩を通して「草花や

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

年齢にあった活動と広い園庭での体育、遊具の活用や、泥んこ・ルールのある遊びへの取り組み。高安山への散歩を通して「草花や



田んぼに映るおしゃれな外観

保育園・認定こども園をたずねて

544

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。

園庭の一角では年齢の異なる友達と菜園活動を行い、収穫した野菜はおいしい給食へと変身。梅干しや味噌の伝統食作り、夏野菜を使ったピザ作り等、食を通して生きる力につなげたいと積極的にクッキングも実践拡大中です。



虹のマークがかかる玄関口

# 開かれた保育園を目指して

## 色とりどりの個性が輝き ひとつの虹となる保育を

保育所  
富田林市 **寺池台保育園**



シリーズ●より良い保育士養成のために

## 未来の保育者へ ともに不安を乗り越え 成長していきたい

南海福祉専門学校  
児童福祉科

木下 孝一

### 実習に対する 不安相談

「先生、実習に行きたくない」「こんな相談を毎年学生から受けます。理由を聞くと、「日誌がしんどい」「先生が怖そう」「指導案が書かれへん」「ピアノが無理」等々。子どもが好きで、幼稚園の先生や保育士になりたい、という思いから本校に入学してきた学生たち。子どもと関わることに對しては、楽しみや喜びを感じる学生が、ここまで実習に不安を感じるのはいずれだろうか、と日々考えています。実習では、準職員として

の態度が求められ、毎日の日誌に追われながら、先生方や園の保育方針、日々の保育のねらいを学び、子どもと関わります。その中で、日々の態度や言動を指導されることや、日誌や指導案の作成に夜中までかかることもあります。確かに、実習は学びの場である以上、指導されることも当然です。むしろ学生自身、自分ができていないことを自覚していることも少なくありません。そんな思いを抱えながら必死に実習に取り組む学生を見ると、胸が熱くなる

ことがよくあります。学生が実習に対する不安を相談しにくるたびに、自身の指導の至らなさを痛感します。私の授業では、学生が実習の中で子どもと深く関わり、子どものことで悩み、子どもから多くのことを学んでほしい、ということも伝えていきます。

しかし、実際には日誌や指導案、礼儀作法等の指導に多くの時間を費やします。もちろん、それぞれの意味や意義は十分伝えていますが、学生からすると、「やっぱり実習は大変や」と思わせてしまっているのが実情です。

そんな中、学生の实習への不安を減らすために何かできることはないだろうか、と実習に行く直前の授業で、こんなことをしてみました。

学生に真っ白な紙を配り、実習に対する不安な気もちや思いを書きだすよう伝えました。それぞれ、思いおもしろいことを書きだした後、その用紙を半分折り、クラス全員一緒に、セーのデビリペリに破り、教室中にまき散らしました。

授業の後、ある学生が「先生、ありがとう、がんばるわ」と泣きながら伝えに来てくれました。ほんのちよっとしたことでしたが、初めて実習

担当としての仕事が少しできたような気がしました。

### 実習から生まれる ドラマ

本校では1年生で保育所実習10日間、施設実習10日間、2年生で幼稚園実習4週間、選択（保育所or施設）実習10日間、の実習を行っています。

つい先日、2年生の幼稚園実習が終わりました。今回の実習でも例年のように数々のドラマ（トラブル？）が生まれました。いくつかご紹介させていただきます。

#### — A君の場合

A君は普段の生活態度や授業態度から、実習では苦労するだろう、とほとんどの教員が思っていました。しかし、予想に反して巡回に行くと、園の先生からは高評価。「今までこんなに素晴らしい実習生は来たことがありません」とのこと。正直、耳を疑いました。

話を聞くと、学校でのようすとは全く異なり、特に子どものかかわりに関しては、職員が真似をしたいと思わせるほど、子どもの

気もちに寄り添い、適切なかわりができているとのこと。A君の良さを見つけて、A君ができていなかったことに深く反省しました。

後日談として、このことを実習後の最初の授業で、学生に伝えると、「ウソやん」「ありえへん」「どんな魔法使ったんや」とクラスがどよめいていました。その時の恥ずかしそうに下を向きながら、うれしそうな表情をしていたA君が忘れられません。

#### — Bさんの場合

Bさんは、実習中毎日のように「もう無理です」と泣きながら学校に電話をかけてきました。実習園での指導や日誌が非常に苦しかったそうです。それでも最後まで実習をやり遂げたBさんと少し話をしました。

もしかすると、保育者をあきらめるのではないかと心配していましたが、Bさんからは、思いもよらない言葉を聞くこととなりました。「私、絶対保育者になりたい」「Bさんは笑顔で語ってくれました。理由を聞いてみると、実習最終日にあるクラスの子

どもの保護者に呼び止められたそうです。そのクラスには3日間しか実習をしておらず、その子どもともあまりかわることができなかったとのこと。

しかし、その保護者から「うちの子は園のことを家で話したことが今までなかったんです。でもB先生のことは家でうれしそうに話をしていました。うちの子が園を楽しんでいることがわかって本当にうれしかったです。ありがとうございませう」と言われ、廊下で思わず泣いてしまったそうです。その言葉を聞きながら、自分が進もうとした道は間違いない、と腹が決まったそうです。素敵な保育者になってほしいと心から思いました。

このような話を聞くと、学生は自分で考え、感じ、成長しているな、と感じます。同時に我々教員も学生に負けないように努力しなければならぬ、と思わずにはいられません。

これからも、未来の保育者を育てるために、学生と一緒に成長していきたいと思えます。

河内

「第18回わんぱくフェスティバル」開催

東大阪市私立保育会が主催する「わんぱくフェスティバル」が6月3日に東大阪アリーナで開催されました。今年で18回目を迎える「わんぱくフェスティバ

ル」は地域の子育て支援とともに社会貢献の一環として全加盟園と東大阪市の共催で行っています。

フェスティバルは市長のあいさつからはじまり、園児たちの歌やダンスと親子で参加できる3B体操、障がい児者の方々の物販、プロバスケット・大阪エヴェッサのダンスチームによるチャ

リーディングがありました。午後は四條畷学園高等学校吹奏楽部の演奏がありました。参加者と一緒に楽しめる曲で大いに盛り上がりました。大アリーナ会場では大阪府民共済ほか協賛各社による大きな滑り台や積木、ボールプール、機関車等がありました。



一般参加者1600人、園児900人が参加

ちやや乳児の遊び場もあり、いずれも大人気でした。無事に「わんぱくフェスティバル」を終えることができ、子どもたちの笑顔のため

に園の垣根を越えて協力しあえることに喜びを感じ、子どもたちの笑顔の素晴らしさを実感しました。



研修会のような

南大阪

子どもの発達に寄り添った支援を

6月11日にL・I・Cはびきので作業療法士の松村エリ氏をお招きし、「発達支援研修」を実施し保育士38人が参加しました。

松村氏は発達障がいと感覚における問題の関係性について、子どもたちは日常生活や運動遊びなどを通して、さまざまな感覚を学ぶ

この発達段階を理解するために感覚統合理論を知ることが重要と話されました。

例えば、感覚が鈍感な時期の子どもは顔の周りが汚れていること等が気になりません。これは、感覚の発達

が未熟であることを指しています。一方、触覚が敏

感であれば、特定の触感のものが食べられないなどの過敏な反応もあります。保育者はこれに気づき無理強

次に、身体の動きをスムーズにしたり、コミュニケーション能力の発達に結び付きの深い固有感覚について

この感覚が鈍感な場合、力加減が困難であったり、不器用であることが多いようです。危険予測ができないため、高いところからでも平気で飛び降りるなど、危険な行動がみられます。

この場合、運動遊びなどを通して子どもに危険であることを感覚的に学ばせることが大切です。

研修を通して、支援する前に問題を理解し、的確な対応を見出すことが子どもの発達に寄り添った支援になることを実感しました。

(編集委員Y・K)



さんぽ

暑中お見舞い申し上げます。暑い日が続いておりませんが、健康には十分ご留意ください。

うだるような外の暑さ。クーラーで冷えた室内。夜もクーラーをかけたままの就寝。体調も崩れそうですね。しかし子どもたちは、プールや水遊びと夏ならではの遊びを毎日楽しんでます。

「山の日」施行にむかへ

河内ブロック

定され、本年8月11日に「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日という「山の日」が施行されます。

国民の祝日となることで休みが増え、子どもたちや職員にはうれしいこと

祭日祝日ノ休暇日ヲ定ム」として、定められたのが祝祭日の始まりです。その後、祝祭日から祝日と経て、昭和23年に祝日法によって制定されてい

とでしようね。

日本における国民の祝日は年間16日となるのですが、では国民の祝日とはどのように制定されているのでしょうか。

元々日本初の祝祭日の制定は明治6年に「年中

てやまない日本国民は、美しい習慣を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日」と定められています。

「山の日」が制定されたことで、6月だけが日本で唯一制定のない月となりました。本来の国民の祝日の意味を残し、祝日を単なる休日とせず制定すべきと考えます。

(くすのき保育園Y・I)